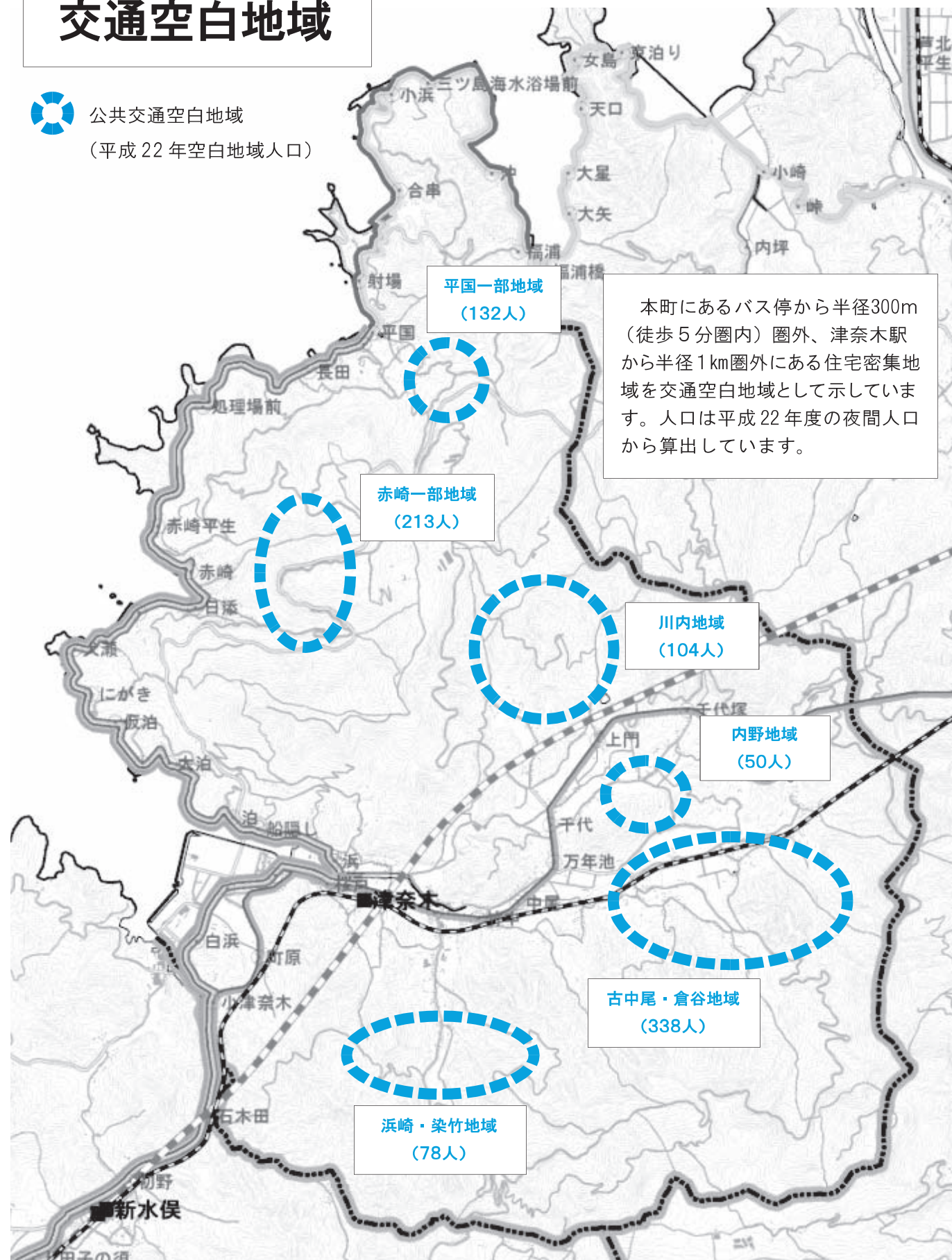


津奈木町の交通空白地域

公共交通空白地域
(平成22年空白地域人口)

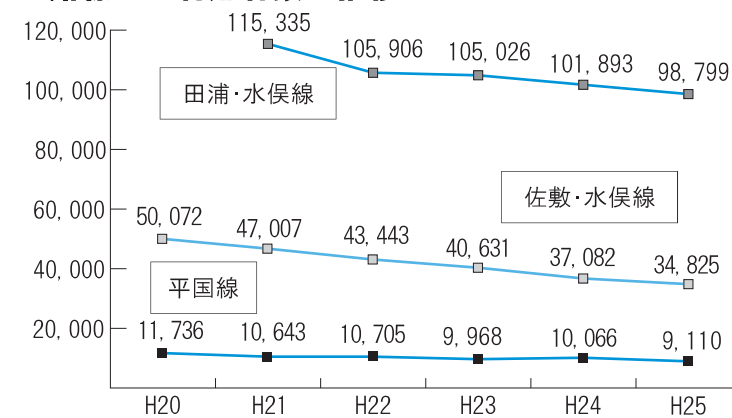


どうなる！？ わが町の路線バス

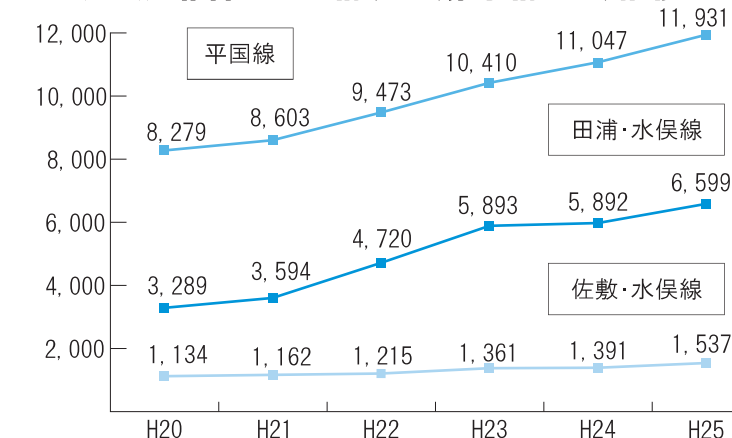
公共交通である路線バスは、利用者の多くが通院や買い物の目的で利用されることから、沿線住民の日常生活を支える移動手段として重要な役割を果たしています。しかし、人口減少や急速な高齢化など、社会全体が大きな転換期を迎えている今、これからの地域公共交通を考えてみました。



路線バス利用者数の推移(人)



公共交通維持のため補助金(赤字補てん)推移(千円)



町の路線バスは今

本町の路線バスは、主に国道3号線を南北に約60km運行する八代・水俣線と、国道3号線から外れて海岸沿いを運行する平国線があり、いずれの路線も産交バス(株)が運営しています。

現在バスは1時間に1本程度運行しており、最低限のサービス水準は確保されています。しかし、町民のほとんどは、自家用車で移動しており、バスの利用者は年々減少、町の負担

額は年々増加し現在では、2千万円を超える負担額となっています。特に平国線の利用状況は1便あたり2、3人の乗車数であり大きな需要が見込めないだけでなく、地理的条件やバス停までの距離が遠いなどの問題から利用することが困難な状況となっています。

また、本町は道幅が狭い地域が各地にあるため現在の路線バスでは対応できず、公共交通手段のない、交通空白地域が点在しています